

令和3年度第2回さぬき市総合教育会議議事録

1 開催日時	令和3年10月25日(月) 開会 9時25分 閉会 10時55分		
2 場所	寒川第2庁舎203会議室		
3 出席者	市長		大山 茂樹
	教育委員会	教育長	安藤 正倫
		委員	徳田 二三男
			得丸 慶子
			廣瀬 強
	多田 俊		
	事務局	西尾 由香	
		教育部長	谷 訓昌
		教育総務課長	安倍 潤
		学校教育課長	富田 克美
生涯学習課長		細川 史朗	
幼保こども園課長		中川 勝幸	
人権推進課長		山田 謙二	
教育総務課課長補佐		高西 恵	
教育総務課副主幹	新納 慶子(会議録調製者)		
その他説明等のため出席した者		なし	
4 会議に付した協議・調整事項	(1) 令和4年度における当初予算編成に向けた方針について (2) その他		
5 特記事項	傍聴人 1名		
6 会議内容	開会		
教育部長	<p>ただ今から、令和3年度第2回さぬき市総合教育会議を開会します。</p> <p>この会議は原則公開とされておりますが、今回、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、会議の日程を公表しつつ傍聴の自粛を呼び掛けておりまして、さぬき市ケーブルネットワークの取材関係者1名のみの傍聴となっておりますので御報告いたします。</p> <p>なお、議事録を会議後に公表することを申し添えいたします。</p> <p>それでは、開会にあたりまして、市長から御挨拶をお願いします。</p>		
市長	(挨拶)		
教育部長	続きまして、教育長から御挨拶を申し上げます。		
教育長	(挨拶)		
協議・調整事項			

<p>教育部長</p>	<p>それでは、協議・調整事項に入ります。 ここからの議事進行については、さぬき市総合教育会議運営規程に基づきまして、市長をお願いします。</p>
<p>市長</p>	<p>それでは、議題に入ります。 (1) 令和4年度における当初予算編成に向けた方針につきまして、関係課長から説明をお願いします。</p>
<p>各関係課長</p>	<p>(令和4年度予算の重点要望項目の概要について説明した。)</p>
<p>市長</p>	<p>教育総務課から説明がありました津田小学校の入口の所にあります旧津田町の商工会館の建物につきましては、耐震性がないこともあって、今年度に取り壊すための予算を計上していますが、アスベストがかなり含まれていることが判明しました。それに対応するには、当初想定していた倍以上の経費がかかるということで、いろいろ検討した結果、今年度に計上している予算は、必要でない額を一旦減額して、来年度の当初予算で措置するという内容です。</p> <p>それから、学校教育課や生涯学習課でよく出てくるのが、施設の修繕でありまして、新しく建てるのもお金が要りますし、修繕というのは、どちらかというと一時的な綻びを縫うだけの策なので、積極的な経費というより現状維持というだけなので、毎年、あっちで壊れたこっちで壊れたというものをどうするか、これは教育関係だけではなく市全体の大きな問題でして、ある程度補修しながら延命するのがいいのか、取り壊して新しくするのがいいのかというのを、ファシリティーマネージメントという手法で一番いい方法を選びましょうということになるのですが、そのためには、今まで数箇所あった施設を、例えば半数くらいに集約するとか、人口が減っているところをどうするのかとか、そういう問題も解決していかなければなりません。</p> <p>また、生涯学習課で、いわゆる文化とか芸術とか、文化遺産として、旧恵利家住宅や、例えば、志度寺の中にあります伝説の「海女の墓」の大きなものが経年劣化で壊れてきていて、志度寺にお願いして応急処置をお願いしていて、今後においては、まず一つのお墓を国や県の補助を利用して直すことを考えております。志度寺の中には、お墓がたくさんありますが、市の方針としては、大きさや量ではなく質を求めて、少し時間はかかっても、他にはないものについては直していこうと思っています。</p> <p>幼保こども園課関係では、子どもの数が減ってきており、教育委員会に関係ある「幼稚園」に通わせる保護者が減ってきている、もしくは、保育所やこども園の方にシフトしてきている。大きい問題としては、少子化の影響と、乳幼児教育の在り方が変わってきているなかで、幼稚園をどうするのかという問題があります。</p> <p>また、人権教育についてですけれど、人権教育イコール同和問題と考えられがちですが、もちろん被差別部落の差別は現実的に典型的な差別ですので、その解消は大変大切なことですが、人権という土俵を広げて、例えばLGBTというようなことについての理解を深めて、直接的・間接的に懸案である同和問題の解決につなげていきたいと考えています。来年度の4月からですけど、さぬき市もパートナーシップの仕組みを取り入れようと考えています。</p>

	<p>そうしたなかで、何でも構いませんので、ご発言をお願いできたらと思います。</p>
教育委員	<p>私の方から学校の教員であったことから、学校運営協議会についてお聞きしたいと思います。今現在、学校運営協議会は、法的には努力義務ということですが、さぬき市においても、いよいよ始まるとお聞きしまして、いい方向にいけばいいと期待しております。1年目からは、なかなか形になるのは難しいと思いますが、学校に対してどのような指導をしたり、学校でもどのような準備をしているのか、お聞きしたいと思います。</p>
市長	<p>学校運営協議会の今の状況について、教育長から説明をお願いします。</p>
教育長	<p>学校運営協議会につきましては、その母体となる学校支援ボランティアが、各学校の校区内にありますので、それと学校運営協議会を結び付けて実施していきたい。今は、各学校に規則案等を示して、問題があるか、どの部分を改正していけばいいか検討をしてもらっています。また、先ほど申し上げましたとおり、学校と地域が協力して進めていくということになりますので、委員の人選を慎重に行うべきだと考えております。そういうことで、令和4年度から学校運営協議会の実施に踏み切ることができたらと思います。</p>
市長	<p>学校現場では、学校の先生方と保護者との関係というのは、どうなのでしょう。</p>
教育委員	<p>基本的には、学校教育を周りの地域の方たちが、自分たちができることがあれば支援していきたいという気持ちは非常に強いです。ただ、その一方で、保護者との関係となると、保護者の方々も自分の生活が一番にあって、子どものことについて、できるだけ学校の方にお願ひしたいという気持ちはあって、子育てのことについては、以前は家庭教育学級というものを学校が主体となって進めていたこともありますが、開催しても人が集まらない。今現在としては、小学校入学時の入学説明会といった時に、保護者に親としての在り方を説明して子育ての自覚を持ってもらう。</p>
市長	<p>小学校と中学校では運営協議会の様相が変わってくると思うのですが、そういう違いと、現実的に、学校ごとに事情が違うので、要は、形だけでなく中身のある会議に、有効に機能する会議になるように、教育委員さんの御意見もお聞きしていく必要があると思います。</p> <p>他にいかがですか。</p>
教育委員	<p>2点ほどあるのですが、まず、文化について、先ほど市長さんから質を高めるといことは大事とお伺いしました。そこで、「展示館施設整備事業の細川林谷記念館」で、今年度が基本設計、来年度が実施設計とのことですが、細川林谷という人は旧寒川町の方ですが、旧寒川町の住民の方でも、「誰のことですか？」と知名度が低い。細川林谷さんは江戸時代後期の篆刻家で、その当時は有名な方で、そういった文化的に価値がある人が、このさぬき市内にいたといことは大切なことだし、その子孫の方から3億円の寄附をいただいて記念館を建てるということに意義があると思います。ただ、そこで「箱」を建てたらそれで終わりではなくて、その後、細川林谷さんについて顕彰したり、記念</p>

	<p>館がさぬき市の文化の中心となる役割を担うことも大切だと思っています。そのためには、いわゆる学芸員とか、記念館を中心にして文化を広げていく組織とかが必要ではないかと考えておりますので、そういった予算を考えていただければと思います。</p> <p>もうひとつは、幼児教育についてです。子どもの減少とか、公立の幼稚園ではなく私立幼稚園やこども園に子どもを預ける傾向にあるのは仕方がない面もあるかもしれませんが、公立幼稚園には公立幼稚園の意義もあるし、保護者の選択肢としても、公立幼稚園があるということは大事なことだと思っています。また、幼稚園教育の質という面でも、さぬき市内の公立幼稚園の存在は重要だと考えています。ただ、現状を考えると公立幼稚園の数が減っていくのは仕方がないと思うのですが、私立の幼稚園に通っている子どもたちも、やがては、さぬき市立の小学校へ通う子がほとんどです。公立の幼稚園に通う子どもや保護者のためだけではなくて、私立幼稚園やこども園においても幼児教育の質を高めていけるように、行政としての取組を考えていただけたらと思います。</p>
市長	<p>細川林谷については、近々、シンポジウムが開催されるようですが、いつだったでしょうか。</p>
生涯学習課長	<p>11月に林谷さんの作品の展示会をするのですが、その最終日に、文化財保護協会寒川支部が中心となって、細川林谷を研究されている田淵先生をお招きして講演会を開催するよう計画しております。</p>
市長	<p>委員さんがおっしゃるように、確かに、知る人ぞ知るですが、一般的に、歴史の教科書で教わったかというと教わっていないですね。そういう意味で、これを良いきっかけにして、地元の人にまず理解してもらおう。</p> <p>そして、おっしゃるように、建てたら終わりではなく、運営主体といいますか運営組織をしっかりしないと、あるものを守るというだけでなく、そういうものに触発されて、子どもたちが夢を持つように、また運営面も地元の皆さんに協力を求めるという御提案をいただいておりますので、運営については、ぜひ、長続きする持続可能なものにしていきたいと考えています。</p>
市長	<p>それから、幼稚園のことですが、教育と保育の違いについては、分かりにくいところもあるのですが、どちらも大事なものと理解しています。それぞれにニーズにあった選択肢を提供するという意味で、公立の幼稚園というのは、やはり必要であると考えています。ただ、おっしゃっていただいたように、現実には、公立の幼稚園に通う子どもが少なくなっていますが、幼稚園に、無理やり保育の役割を持たせることで、せつかくの幼稚園が保育に近づくのはもったいない気がします。公立幼稚園としての教育に特化したサービスを提供することで、それを理解してくれる保護者もいらっしゃると思っています。私立幼稚園は経営や収支の関係があるので、公立は政策的な多様性を持たすということを考えていければと思っています。委員さんには、具体的なお知恵をお伺いできたらと考えております。</p> <p>他にいかがですか。</p>

<p>教育委員</p>	<p>施設の修繕について気になったところがありまして、志度寺の「海女の墓」の修繕は、今すぐには必要でなくても、いずれはしないとイケない工事であると思いますが、それを、市がしなくてはならないのか疑問に思うところがあります。例えば、コアなファンという存在がいらっしゃると思うので、そういう人に向けて、クラウドファンディングみたいな、寄附じゃないですけど、修繕したいのでお願いできますかという考え方も、必要でないかと思います。全て市が費用を負担しなくてもいいのではないかと思います。文化財は残していかなければならないものなので、後世に残すためには、どうやっていくのか、全部市が賄っていくのか、県が賄っていくのか、疑問に思っています。ファンに向けて発信していく、修繕のためにお金を集めるという方法もいいのではないかと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>文化財についてはいろんな意見があり、今の制度上、文化財の指定を受けるまでは、あくまでも応急処置は設置者が負担するということなので、市が負う部分は市で負担するという事で予算措置をしています。ゆくゆくは文化財として指定されれば、国や県の負担もあるので、それは最大限に利用していきたいと思います。ただ、古いものは、お金の都合で1、2年放っておくと、元に戻らないくらいに壊れてしまうことがあるので、歴史のなかで、次の人に伝えていくということは、今を生きる人の責務であると思います。志度寺の「海女の墓」は、それに相当する価値があるとお聞きしていますので、市民の方に理解をいただいきたいと思います。</p> <p>他はいかがですか。</p>
<p>教育委員</p>	<p>先ほども話が出たのですが、公立幼稚園のことで、廃園にしなければならないほど園児が減っている問題ですが、今、ほとんどの保護者が仕事をしていて共稼ぎありきで、またひとり親家庭もあるし、おじいちゃんおばあちゃんが近所になくとも増えてきているなかで、今のさぬき市の幼稚園教育は、いざとなったら、おじいちゃんおばあちゃんに子どもを預けたらいいとか、子どもが小さいときは専業主婦で、その後再就職するという、昔のニーズにしか応えていないと思うのです。子どもを産んだら、すぐに働かなくてはならないという社会になっているので、そこのニーズに合わせていかないと、子どもが生まれて、どこに住もうか、どこに家を建てようかと考えるときに、さぬき市には、公立の保育所とか幼稚園しかないのが不便だとなったら、さぬき市内に住まなくなる人もいるかもしれない、さぬき市を選択しないかもしれないということは、後々、小学校、中学校も、拍車をかけて児童数、生徒数が減っていく原因になりかねないので、後回しにせず、幼稚園教育というものを、市のビジョンをはっきりさせて、真剣に取り組まなければならないと思います。幼稚園教育の良さというものを、はっきり打ち出さないといけないと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>委員のおっしゃるとおりだと思います。</p> <p>例えば、教育という部分で特徴を持ったこども園、また、保育に特徴を持ったこども園というものがあっていいと思うので、いずれにしても、現実的に、保育と教育の違いを踏まえた新しい議論というものを、子どもを主体に考えて、保護者が選択できるように、従来の幼稚園に拘りすぎないように、市とし</p>

	<p>て検討していきたいと考えておりますし、教育委員会でも議論をよろしく願いたいと思います。</p> <p>次はいかがですか。</p>
教育委員	<p>予算編成の重点項目のなかで、全体的に施設が古くなっているのので、修理修繕に関係する予算が多くなっている気がします。壊れた部分が大きくなると費用も高くなるので、やはり、早期に対応していく必要があると思います。</p> <p>また、人づくりということで、子どもにしっかりと学力をつけることが大切だと思います。GIGAスクール構想で、タブレットやデジタル教科書が整備されていますが、そういう環境ができて、それを活用して、どうやって子どもたちに学力をつけていくのか、校長会でも要望がありましたが、ICTに堪能な人をつけてほしいということなので、人材に係る予算を、ぜひお願いできたらと思います。例えば、どこか市内の学校で研究指定校を作って研究をして、その成果を市内のあるいは県内の小・中学校に活用できればいいのではないかと思います。</p> <p>また、「四国八十八か所」を世界遺産にという話があるのですが、さぬき市として、教育委員会としてできることがあれば取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>また、北海道の剣淵との交流事業について、参加者が限定されている、剣淵の小学校の人数しか参加できないという問題があるようですので、将来的にどうするのか、見通しを立てていく必要があると考えています。</p>
市長	<p>修繕というものは、早ければ早いほど経費もかからないし、効果も上がるのですが、人口減少という問題もあるので、例えば、10年後に必要な施設であるかどうか、10年後に必要なものでないものに経費をかけることは難しい。そうかといって、10年間、今のままで使えない場合はどうするのかという議論が必要だと考えています。今までは、どちらかという、その都度その都度の修繕になっているので、これについては、もう少し中長期的な見通しを立てて進めていきたいと思っています。</p> <p>四国八十八か所については、四国遍路をユネスコの世界遺産にするためには、遍路道を含めた1,400km全体を指定しようとしており、ユネスコの提示する条件を満たすのは難しい状況です。そうしたなか、さぬき市には、前山に、おへんろ交流サロンというのがあって、規模は小さいのですが、四国で唯一のお遍路に特化した施設なので、来年から職員を増やして中身を充実させて、施設の増築もして、今以上の四国八十八か所関連の集客施設にしたいと考えています。さぬき市としては、おへんろ交流サロンの中身をよくしていこうと思っています。</p> <p>剣淵との交流事業については、旧小田小学校の時代から続いているとお聞きしています。かつては、剣淵小学校の児童とほぼ同数の児童が行き来して交流して、交流した子どもの子供も、また行き来するというように20年以上続いている事業です。今は、コロナ禍の影響で行けなくなっていますが、新しい人との関わりは人として成長するために大事なことだと思うので、北海道の子どもとの交流は大きなチャンスだと思っています。せっかく続いてきたので、</p>

	<p>経費もかかることですが、経済的な面で公平感があるような新しい時代に合った交流事業となるように工夫していきたいと考えています。</p> <p>教育長さんは、何かありますか。</p>
教育長	<p>委員さんとほとんど同じですが、3つほどあると思うのですが、学校の運営、コミュニティスクールのこと、それと文化財の充実というのは、さぬき市が外に向かって打ち出す第一歩だと思いますので、歴史と文化と伝統のまちというのが必要だろうと、そして、就学前教育の充実というのが必要だと思っています。教育の充実を図るためには、やはり、ひと・もの・かねが大事なかなと思っています。そういうことで、今日は委員の皆さまに、いい御指摘をいただけたと思っています。その充実に向けて、よろしくをお願いします。</p>
市長	<p>はい。今は、デジタル化の推進が言われていますが、デジタル化は非常に大事なことですが、今ある現状をデジタル化しようとするので上手くいかないであって、まずは、現状を整理してデジタル化できるような事務に直していくのが重要だと思っています。例えば、住民票の制度などをそのまま機械に載せようとするので無理があるのであって、デジタル化するには、どうしたら効率化できるかを考える必要があり、効率化する最大の目的は、そこで生まれた余力を、本当に必要なところへ持っていくことだと思うのです。GIGAスクールも、大事なのは授業の中身であって、中身を整理しないで、媒体だけで議論をするから、GIGAスクールというものが、底の浅いものになってしまう。デジタル化することによって、中身も良くなるようにしないと、莫大な費用をかけて、果たして子どもが幸せになっているのかを考えてほしいと思います。</p> <p>また、一人ひとりの子どもが一生懸命努力したことに対して、結果だけをみるのではなくて、それまでの経緯を客観的に評価できるような仕組みを作っていくしないと、一部の人の社会になってしまうような気がします。なかなか難しいことではありますが、努力のプロセスを結果のなかで評価できるようにしたら、もっと世の中が良くなると思います。</p> <p>また、教育長さんから文化財の話が出ましたが、文化財は大事にしなければならぬとわかっているけども、優先順位が低く考えられてしまうものだと思いますが、中身を充実させるような具体的な事業を考えて、予算に反映させていけたらと思います。</p> <p>また、就学前も含めて子どもが輝いていない社会には未来がないと思うので、せっかくGIGAスクールなどの手段もできているので、中身をもっと充実させていきたいと考えています。</p>
市長	<p>それでは、まだ言い足りないことがありましたら、教育委員会の会議の場で言っていただいて伝えていただけたら、今からの当初予算の査定のなかで少しでも反映をさせていただけたらと思います。</p> <p>最後にもう1点だけ、先日、香川県の綱引き連盟の方から、「最近、学校の運動会とかで子どもさんが綱引きをする機会がないので、ぜひ教育委員会の方へ話を聞いて考えてもらえませんか。」という話があったのですが、実際、運動会で、子ども同士の綱引きというのはしているのですか。</p>
教育長	<p>結構ということはないのですが、たまにはしています。</p>

市長	今は危険だということで、保護者の方から、あまりやってほしくないという御意見があったりするのですか。
教育長	そういうのではないのですが。中学校では、保護者対生徒でしたりはしません。しかし、一時、ロープが切れたりということもありまして、あまり派手でない種目でもありますし。
市長	時代に合っていないということですかね。 一応、するとかしないとかではなく、実際に、この一年間で、子どもとか保護者で綱引きをしたがどうかを調べてくれますか。
教育長	はい、わかりました。
市長	それでは、時間になりましたので進行をお返しします。
閉 会	
教育部長	以上をもちまして、令和3年度第2回さぬき市総合教育会議を閉会します。